

WHO-FIC ネットワーク年次会議（2022 年、2021 年）の報告

○ WHO-FIC ネットワーク年次会議（2022 年ハイブリッド開催）

開催期間 : 令和 4（2022）年 10 月 17 日（月）～21 日（金）

ホスト : WHO 本部（ジュネーブ）

※WHO-FIC (WHO Family of International Classifications / WHO 国際統計分類)

○ WHO-FIC ネットワーク年次会議（2021 年オンライン開催）

開催期間 : 令和 3（2021）年 10 月 18 日（月）～22 日（金）

ホスト : WHO 本部（ジュネーブ）

参加者 : WHO、各 WHO 国際統計分類協力センター、各国政府厚生・統計関係部局、NGO、オブザーバー等

【主な議論及び報告内容】

1. WHO-FIC ネットワーク年次会議（2022 年ハイブリッド開催）

(1) 全体

- 2022 年は、対面参加を主体としながらオンライン参加も可能とするハイブリッド開催となった。2022 年の会議には 34 の協力センターと 72 か国が参加。会場参加 190 名程度、zoom 参加と合わせ、約 360 名が参加した。
- CSAC-ICD（分類・統計諮問委員会 ICD）：87 件の提案を検討し 49 件を承認。（事前承認 33 件、年次会議での承認 3 件、年次会議での修正承認 13 件）。リジェクトは 11 件。その他、差し戻し 4 件、CSAC 保留 4 件、持ち越し 2 件。実装済み 1 件等。
- CSAC-ICF（分類・統計諮問委員会 ICF）：ICF（国際生活機能分類）改正について承認案件はなし。2021 年は移行の年、2022 年はパイロットの年と位置付け。

(2) 共同議長選出

ネットワーク各委員会・レファレンスグループの共同議長は、以下のとおりとなった。なお、カウンスル（諮問委員会）の共同議長選挙は奇数年に開催され、ネットワーク各委員会・レファレンスグループの共同議長選挙は偶数年に開催される。任期は共に 2 年。※1

委員会・グループ名	共同議長
カウンスル（諮問委員会） Council	Ulrich Vogel（独） Mika Watari（日）
教育普及委員会 EIC Education and Implementation Committee	Carlos Gustavo Guevel（アルゼンチン） Lynn Bracewell（英）
国際分類ファミリー拡張委員会 FDC Family Development Committee	Ann-Helene Almborg（北欧） Cassandra Linton（カナダ）

情報科学用語委員会 ITC Informatics and Terminology Committee	Samson Tu (CTS CC ※2) Vicki Bennett (豪)
分類・統計諮問委員会 CSAC Classification and Statistics Advisory Committee	ICD: Meng Zhang (中) ICF: Masahiko Mukaino (日)
医学・科学諮問委員会 MSAC Medical and Scientific Advisory Committee	Christopher Chute Rolf-Detlef Treede
死因分類グループ MRG Mortality Reference Group	James Eynstone-Hinkins (豪) Kathy O' Brien (カナダ)
疾病分類グループ MbRG Morbidity Reference Group	Keith Denny (カナダ) Miroslav Zvolsky (チェコ)
生活機能分類グループ FDRG Functioning and Disability Reference Group	Andrea Martinuzzi (イタリア) Thomas Maribo (北欧)
伝統医学グループ TMRG Traditional Medicine Reference Group	Kenji Watanabe (日) Dou Danbo (中)
口頭剖検グループ VARG Verbal Autopsy Reference Group	Daniel Cobos Munoz (スイス) Erin Nichols (米)

※1 カウンシル共同議長の任期は 2021 年 10 月～2023 年 10 月、各委員会・レファレンスグループ共同議長の任期は 2022 年 10 月～2024 年 10 月。

※2 CTS CC：分類・用語・標準協力センター

(3) ICD-11

- 製表用リスト：死因製表用リストは準備完了。WHO 担当者がプラットフォーム上にリンクを作成中。その他の製表用リストも準備中。
- 提案プラットフォーム：分類自体に対する改正提案のプラットフォームについて、新たに、リファレンスガイド提案、新 MSAC（医学・科学諮問委員会）提案、ポストコーディネーション、エクステンションコードに関する提案等の新規機能が追加されたとの報告があった。

(4) ICF（国際生活機能分類）

- ICF は旧プラットフォームから新プラットフォームに移行済み。長く保留されている ICF の改正提案も要検討。
- ICF 年次改定版は WHO-FIC Foundation から毎年生成される予定。ブラウザと API にレンダリングされ、赤色（※ICD は青）の背景で識別される。印刷版は pdf でダウンロードできるようになる。

(5) ICHI（保健・医療関連行為に関する国際分類）（仮訳）

- 2022 年中に各国にコメント照会を行い、2023 年世界保健総会に提出予定。ICHI のツール基盤は完全に機能するようになった。

(6) 伝統医学

- TM1 (Traditional Medicine Conditions - Module 1) についてそれぞれの国における進捗報告があった。また、TM2 は α ドラフトの開発が終了し、今後ピアレビューとフィールドテストを経て β 版が作成される予定。

2. WHO-FIC ネットワーク年次会議 (2021 年オンライン開催)

(1) 全体

- COVID-19 の流行により 2021 年もオンライン開催となり、70 か国 430 名以上が参加した。
- 今後 5 年のネットワークの最優先事項は、ICD-11 への移行・適用、そのための各国サポート、死亡及び疾病のための IT インフラについて適切なメカニズムの開発とされた。

(2) ICD-11

- CSAC-ICD では、ICD-11 について、97 提案を審議。うち 83 件は年次会議前にプラットフォーム上で決定が行われた。本会議では 14 件の審議があり、承認（修正を伴う承認 5 件含む）9 件、棄却 3 件、議論持ち越し 2 件。

(3) 共通プラットフォーム

- 現在、ICD-11 に ICF, ICHI が統合されたが、Foundation の中にそれぞれ並列して列挙されているだけで、融合していない。各分類体系のコンテンツをどこまでハーモナイズするか問題提起が行われた。

(4) ICF (国際生活機能分類)

- 2020-2021 サイクルにおいて改正提案はなかった。
- 2020 年までの改正は 2021 年末までに ICD と同じ新プラットフォームに統合され、保留中の提案も新プラットフォームで処理される。
- ICF 改正は、基本的に ICD-11 の改正プロセスに基づいており、ICF 改正の議論では CSAC-ICF が中心的役割を果たすこととなる。

(5) ICHI (保健・医療関連行為に関する国際分類) (仮訳)

- ICHI は完全に ICD と同じ新プラットフォームに移行（統合）された。
- ICHI を正しく使うためにトレーニング教材を作る必要がある。

(6) 伝統医学

- 診断コードが既に存在する国は、国際的な比較可能性を確保するために、国内基準を ICD-11 TM1 (Traditional Medicine Conditions - Module 1) 章を整合させる試みが始まっている。